AAR Japan
認定NPO法人 難民を助ける会



～子どもたちを危険から守る学校フェンス作り～
ザンビア

ザンビア

子どもたちを危険から守る学校フェンス作り

- 実施期間　：　2027年3月～
- 募集金額　：　400万円×1口

ザンビアの基本情報

ザンビアはアフリカ南部の内陸国です。1964年の英国領からの独立以来、安定と平和を保ってきました。
紛争が絶えない周辺のコンゴ民主共和国やブルンジ、アンゴラ、ルワンダなどから難民を受け入れ、
自国民と社会統合する路線が国際的にも注目されています。

面積 ： 752.61千平方キロメートル（日本の約2倍）
人口 ： 2,250万人（2026年、世界銀行）
首都 ： ルサカ
民族 ： 73部族（トンガ系、ニャンジァ系、ベンバ系、ルンダ系）
言語 ： 英語（公用語）、ベンバ語、ニャンジァ語、トンガ語
宗教 ： 8割近くはキリスト教、その他（イスラム教、ヒンドゥー教、伝統宗教）



概 況



難民居住地で暮らす家族

ザンビアにある難民居住地の一つであるメヘバ難民居住地には、近隣国から逃れてきた難民のほか、紛争が落ち着いた後も迫害を恐れ帰還できない人々、ザンビアで生まれ育った子どものことを考え帰還を選ばなかった人々など、「元難民」（※）として定住を決めた人やザンビア人が共存しています。

難民居住地内には小学校が11校、中学校が3校あり、さまざまな国から逃れてきた子どもたちがともに学んでいます。

（※）メヘバ難民居住地では、出身国の情勢が落ち着いた後も母国へ帰らず、居住地に留まることを決めた人たちを「元難民」と呼んでいます。

これまでのAARの主な活動

1984年～2004年

メヘバ難民定住支援



国内最大の難民居住地のひとつメヘバで、井戸掘削、クリニックや図書館の建設・運営を実施しました。

2000年～2019年

HIV/エイズ・母子保健



首都ルサカで、HIV/エイズ感染予防の啓発活動、エイズ孤児への就学支援、母子保健のためクリニック建設、医療器材提供などを行いました。

2017年～2019年

水衛生管理を通じたコミュニティ基盤づくり



地域の井戸の維持管理体制を整えることで、元難民とザンビア人の住民間で協働できる関係づくりを支援。

これまでのAARの主な活動

2020年～2022年
農業を通じた生計活動支援



農業資機材や種苗の供与、栽培能力の強化、販路拡大支援、収支管理の強化などを通じて、自助グループの生計向上支援を実施。

2023年～
メヘバ教育支援事業



基礎教育の拡充を目指し、メヘバ難民居住地で暮らす難民・元難民・ザンビア人を対象に、中等学校の建設、成人・青年向け識字・英語教育、教職員の技能向上研修を実施しています。

活動地・基礎情報





メヘバ難民居住地

首都ルサカから北西へ約600キロメートルの距離に位置するメヘバ難民居住地は、国内最大の難民居住地で、東京都23区ほどの広さを誇ります。1971年より近隣諸国からの難民を受け入れ、数世代にわたって暮らす人々がいる一方、今なお新たに避難してくる人々がいます。現在、4万9,000人以上の難民・元難民が生活しています。

ザンビアでは雨季と乾季が交互に訪れ、7月には朝から冷え込み、10月には気温が35℃近くに達する猛暑日が続きます。マーケットには、バナナやマンゴー、アボカドなど、季節ごとに収穫される新鮮なフルーツが並びます。

現在の状況と課題



校庭の中を横切るバイク



校舎の真横を走るバイク

メヘバ難民居住地で最も児童数が多いメヘバD小学校には、約2,100人の子どもたちが通っています。学校には敷地を囲むフェンスがないため、車やバイクが校庭を頻繁に横切り、子どもとバイクの衝突事故が発生したこともあります。

また、市場などがある人通りの多い場所に位置しており、学校関係者以外の人も敷地内に簡単に入ることができます。学校資材の盗難などの犯罪も相次いでいます。

隣国から避難してきたばかりで精神的に不安定な子どもも通う中、こうした環境は安全上の大きな懸念となっています。

まるごと募金プロジェクト2026－活動概要



設置するフェンスのイメージ


D小学校に通う子どもたち

D小学校に学校を囲む

フェンスを設置します

↓

子どもたちが安全に

学んだり遊んだり

できるようになります

※今後、教室などの施設が増設される際に支障が出ないよう、小学校の敷地を4方向すべて囲うのではなく、車やバイクが主に進入する3方向をフェンスで囲みます。

活動内容詳細

- フェンス設置に向けて工事の調整や資材を調達します
- 車やバイク、部外者の立ち入りを防ぐフェンスを設置します
- 学校関係者以外の立ち入りを防ぎ、子どもたちの安全が守られます

募集金額

400万円×1口

- フェンスの資材費
- 設置工事費など

・学校の敷地内もしくはフェンスに、お名前や法人名を印字したプレート設置を付けることが可能です
・現地の訪問をご希望の場合はご相談ください。



設置するフェンスのイメージ



D小学校で勉強する子どもたち

AAR職員から

子どもたちの笑顔あふれる校庭を守る

「子どもが元気に遊ぶ校庭で、もう事故を繰り返したくない」。先生たちのそんな切実な願いを何度も耳にしました。生徒は日々真剣に勉強に励み、広い校庭には元気な声と屈託のない笑顔があふれています。子どもたちが安全な学校で毎日を過ごすことができるよう、ご支援をお願い申し上げます。



小林 鮎実　KOBAYASHI Ayumi　ザンビア・メヘバ事務所

大学在学中、学生ボランティアとしてケニア・ウガンダに滞在した。卒業後、民間企業勤務を経て2023年1月にAAR入職。約1年間ケニアで勤務後、2024年8月よりザンビア・メヘバ駐在。北海道出身。ドライブが趣味で、気ままに道の駅を巡りながら温泉へ行くのが帰国時の楽しみ。

スケジュール

実施期間	2027年3月～8月 安全に工事を実施するために雨季を避け、5月～6月の工事開始を予定しています
	6カ月（予定）
中間報告	事業開始から3～4カ月後に進捗をご報告（予定）
完了報告	事業完了から2～3カ月後に成果をご報告（予定） 完了報告は、駐在員・現地職員によるオンライン報告会、ご訪問による報告、 書面によるご報告など、ご希望に応じて行わせていただきます。

その他

- 現地事情によって支援活動が遅延ないし変更される場合があります。
  その際は、事前にご相談いたします。
- 資金を下回る金額で終了した場合、ご相談の上、次なる支援などに
  活用させていただきます。

お問い合わせ

AAR Japan

特定非営利活動法人　難民を助ける会

〒141-0021　東京都品川区上大崎2-12-2　ミズホビル7F

Tel.03-5423-4511　Fax.03-5423-4450

www.aarjapan.gr.jp

まるごとプロジェクト募金担当：桐生（きりゅう）・平井（ひらい）

フリーダイヤル：0120-786-746